

講義名	原価計算論A			授業形態	
担当教員	永田 大貴	開講期・曜日・時間	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

### 主題と概要

利益は、利益＝収益－原価で表される。この関係から、企業経営では原価を把握し、原価構造を理解することが重要となる。本講義では、原価計算の基礎的な考え方と計算手順を学び、特に、材料費・労務費・経費の集計、製造間接費の配賦、個別原価計算、部門別個別原価計算を中心に扱う。あわせて、配賦の考え方の発展として、活動基準原価計算（ABC）の基本を扱う。講義と演習を組み合わせて、計算問題を反復して定着させる。

### 到達目標

本授業は、高学部DP（供給者と生活者の複眼的視点に立った問題解決）および、経営学科DP（問題探索・課題提案）、会計コースDP（会計情報の作成・分析等）に基づき、以下を到達目標とする。

1. 製造の製造に伴い発生する原価の種類や、原価の集計・配賦の考え方を理解できるようにする。
2. 個別原価計算の基本的な計算方法を理解し、手順に沿って処理できるようにする。
3. 部門別個別原価計算および活動基準原価計算（ABC）の基本を理解し、原価配賦の考え方の違いを説明できるようにする。

### 提出課題

毎回の演習問題を提出課題とする。  
必要に応じて小テストを実施する場合がある。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業の冒頭に、前回の演習問題の解説を行う。  
必要に応じて、小テストおよび期末試験についても、実施後に講評と解説を行う。

### 評価の基準

提出課題（毎回の演習問題）60%、期末試験40%とする。

### 履修にあたっての注意・助言他

授業では計算問題を扱うことがあるため電卓が必要。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

.インサイト原価計算。	加登 豊 編	中央経済社	2,640	9784502286704

### その他

### 授業計画

- 第1回 原価計算とは何か  
予習内容：シラバスを見て原価計算の概要をつかみ、原価計算の目的について調べておく（120分）  
復習内容：講義内容を整理し、用語と全体像をまとめる（120分）
- 第2回 簿記の復習（仕訳と転記）  
予習内容：仕訳・転記の基本を確認しておく（120分）  
復習内容：授業で扱った仕訳・転記の演習を解き直す（120分）
- 第3回 工業簿記の基礎（原価計算の流れ）  
予習内容：工業簿記を行う意義について調べておく（120分）  
復習内容：原価の種類と原価計算の流れを整理する（120分）
- 第4回 材料費（実際価格を用いる場合）  
予習内容：材料費の範囲と処理方法を調べておく（120分）  
復習内容：材料費の計算・記録の演習を解き直す（120分）
- 第5回 材料費（予定消費単価を用いる場合）  
予習内容：予定単価の考え方と計算方法を調べておく（120分）  
復習内容：材料費（予定単価）の演習を解き直す（120分）
- 第6回 労務費（実際賃金を用いる場合）  
予習内容：労務費の範囲と処理方法を調べておく（120分）  
復習内容：労務費の計算・記録の演習を解き直す（120分）
- 第7回 労務費・経費（予定賃率を用いる場合）  
予習内容：予定賃率の考え方と計算方法を調べておく（120分）  
復習内容：労務費（予定賃率）の演習を解き直す（120分）
- 第8回 経費 / 各費目のまとめ（材料費・労務費・経費）  
予習内容：材料費・労務費・経費の違いを整理しておく（120分）  
復習内容：3費目の集計問題を解き直し、処理手順をまとめる（120分）
- 第9回 製造間接費（製造間接費の実際配賦と個別原価計算）  
予習内容：個別原価計算を実施する場面について調べておく（120分）  
復習内容：個別原価計算の一環の演習を解き直す（120分）
- 第10回 製造間接費（製造間接費の予定配賦）  
予習内容：製造間接費を予定配賦する意義を調べておく（120分）  
復習内容：予定配賦を含む個別原価計算の演習を解き直す（120分）
- 第11回 部門別個別原価計算（直接配賦法）  
予習内容：部門別計算の目的を調べておく（120分）  
復習内容：直接配賦法の計算問題を解き直す（120分）
- 第12回 部門別個別原価計算（相互配賦法）  
予習内容：相互配賦法と重複配賦法の違いを整理しておく（120分）  
復習内容：相互配賦法の演習を解き直す（120分）
- 第13回 部門別個別原価計算（製造部門費の予定配賦）  
予習内容：製造部門費の予定配賦の意義を調べておく（120分）  
復習内容：部門別計算（予定配賦）の演習を解き直す（120分）
- 第14回 活動基準原価計算（ABC）  
予習内容：活動基準原価計算（ABC）の目的と基本用語（活動、原価動因など）を調べておく（120分）  
復習内容：講義プリントを整理・復習し、簡単な計算例を解き直す（120分）
- 第15回 総まとめ（重要論点の整理と総合演習）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目は、企業が製品やサービスを提供する上で発生する原価を把握し、原価情報を用いて企業活動を整理するための基礎を扱う。原価の集計・配賦や個別原価計算の学習を通して、企業の原価構造を理解する視点を身につけ、経営学科DPに示される問題探索・課題提案の基礎となる知識を形成する。また、原価の集計・配賦、個別原価計算、部門別計算および活動基準原価計算（ABC）の学習を通して、会計コースDPに示される会計情報の作成・分析に接続する。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業では、講義に加えて毎回演習を行い、解答の共有を行う。  
ICTはLMS/Teams等を用い、資料配布、演習問題・解答の提示、質問受付、連絡事項の共有を行う。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考